

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年2月18日

配布数 6

回収数 6

業所名 アートチャイルドケアSED SCHOOL武蔵新城

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	2	4	0	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	・兄弟などがいる時は事故を未然に防ぐ事が困難に感じる日が続いていくかあります。 ・せまい。 ・遊具の置き場がなく部屋が狭くなっている。 ・感染拡大防止に配慮が必要。	運営基準上の療育・事務室等の広さは十分満たしておりますので、整理整頓を行い安全への配慮は引き続き徹底する。
	2 職員の配置数は適切であるか	1	3	2	0	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	・グループ6名利用、マンツーマン対応2名以上、職員2名だと安全に配慮する事が難しいです。 ・他事業所と比べて明らかに少ない。保育園訪問等も行いたいが人員が足りない。	グループ時の職員配置の検討を行います。 本社からの応援職員が入ることによって加配配置もできております。保育所等訪問支援事業実施については、事業開始とそのため的人员確保の検討を行う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	2	1	0	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	・清潔さでいうと消毒（おもちゃなど）が曖昧な所がある。やる人が決まっている。 ・遊具を使用していると仮定すると、その他の子への危険性が高く伸び伸び遊べない。 ・療育室の床がコルクのようになっているので小さな物が落ちていても気づきにくい。	消毒するタイミングなど共有して行っていく。 気が大事！自分が使ったものはじぶんで片付ける、昨日は他者がやってくれたから今日は自分が思い合える環境作りを心がける。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・各々の目標に全力だと思います。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・改善につなげているかもしれないが私自身が把握できていない。	積極的に確認や把握を促していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	2	0	2	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	・未確認内容です。確認します。 ・公開しているかもしれないが私は把握できていない。	積極的に確認や把握を促していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・機会が多くあります。多いため業務が回っていないと感じる時もあります。（レポート、計画支援など） ・社内研修のみ。外部研修での情報収集に欠ける。 ・研修の機会があっても参加できない、しづらい状況の時がある。	日々の療育業務が優先となり、中々業務時間内に学びの機会を確保することが難しい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・皆さん子どもへの思いを強く持っているなと感じます。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・全ては使われていない。	お子様の状況を適切に把握するために、アセスメントツールの使用に努めてます。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	1	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	・会議でも丁寧に話し合う事ができているように思います。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・ねらいをよく考えて支援する事ができている。半面、こちらが挑戦する前に「その課題は難しいかも」と思ってしまうかにも思います。（結果未実施）	ねらいが適切であれば、アプローチの方法等を具体的に話し合わせる時間を確保する。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・このように言われてしまうかもと思、言わない言えないと感じる時もある。	言いやすい環境をそれぞれが意識して作っていく。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	1	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	・過去の記録を把握しプログラムを決めます。連携も取れると感じます。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	2	0	1	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	・子どもの状況に合わず、集団行動に参加する事もある。	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・職員同士が連携できている（その場で判断できる）為か、話し合いが減ったように感じる。意識する必要があると思います。	連携不足を感じる事もある。お子様のために話し合うことを習慣化していきたい。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・翌日のカンファ内でしっかりできていると思います。	
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・できていると思います。		
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・業務に追われ、担当の子も増えて気持ちに余裕がないです。	引き続き指導員採用に注力すると共に、職員全員で協力して効率良く業務を進めて、計画の見直しも検討していく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	0	2	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	・良く分かりません。 ・担当者会議の実施はなく園との情報共有に留まっている。	中央療育センター相談員との連携が構築しつつある。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2	0	2	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	・スクール長メインで働いて下さっています。親御さんも安心して相談して下さっている印象です。	
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	0	1	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	・同上。	
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	1	1	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	・同上。	
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	5	0	1	0.0%	83.3%	0.0%	16.7%	・あまり他事業所さんから助言頂く事はない印象です。書類上でのやり取りは多いと感じます。 ・モニタリングは電話のみ。 ・コロナの影響を受け、機会がへっているのではないかと。	指導員が直接、関係機関と話し合える機会を設けたいので、今後検討を進めていく。
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	2	3	1	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	・私が存じないだけなのか、今コロナという事もあるので難しいのでしょうか。 ・コロナの影響を受け、機会がへっているのではないかと。	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・中には課題、要望が高く感じる時があるので、段階を踏んで、、、という話をさせて頂いています。	
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・スクール長を中心に対応しています。	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・同上。	
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・親御さんの悩みが大きい時は職員同士で話し合い助言させて頂いています。	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・できていますと感じます。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	1	1	0	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	・まず事務所内が個人情報であふれているが扉は開けっ放しが多い。また、親御さんに他児の名を言って個人情報を自然と喋ってしまう事が多い。「いいの？」と疑問に思う。私も含めて誰も指摘してない。 ・スクールとして他児名がかかれた予定セッションボードをみせない様にする必要がある。	事務所内のドアは換気のため空けていることが多いが、来所時は閉めるようにする。予定セッションボードについては事務所から運出さない事を徹底し、体温票も記入後は事務所に補充することを徹底した。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	0	1	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	・行っているが数が少ない為いざという時に大丈夫なのか？と心配はしています。「特に防犯」	地震災害だけではなく、あらゆる災害に対応できる知識をつける必要がある。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	1	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	・避難訓練を先日行いました。また取り組みたいと思います。	
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	0	2	83.3%	0.0%	0.0%	33.3%	・できていますが把握し切れているかは△。人数も多く表があるのか知らない。 ・母子通所のため把握のみ。 ・その日の子どもの体調（昼寝できなかった、ケガした等）	てんかんも含めアレルギーについては全員にアンケートをいただき個別ファイルにて保管しています。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	1	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	・数が少ない。私も含めて小さな事でも取り上げたいこうと思います。 ・報告用以外でも気がついたことをすぐ記入するメモを設置している。	確かにヒヤリハットの数は少なく感じます。職員全員がもっと意識をもってお子さまの安全を守るようになる必要がある。
38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	1	1	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	・行っていない訳ではないが話題にあまりなっていない可能性がある。	虐待研修は毎年行っています。また案件があった場合は職員全体で観察し児童相談所への相談もおこなっている。	